

# 令和3年度 一般会計予算案に対する討論 要旨

## 反対 コロナ禍での福祉増進を、予算案は自治体の役割発揮が不十分だ!

日本共産党目黒区議団 **芋川 ゆうき** 議員

コロナ禍が1年以上続く下で、2020年家計消費は月平均27万7,926円で、前年から実質5.3%減った。解雇や失業が増え、区の福祉窓口への相談件数は昨年度より3倍以上、生活保護の相談も10倍以上になった。区民、区内商店、中小事業者、介護事業者などに対し支援が必要だ。反対理由は主に4点である。(1)区独自のコロナ対策が不十分だ。(1)区独自のコロナ対策が不十分だ。(1)世田谷、墨田のように独自の検査態勢を

強化せよ。②事業者の家賃補助を行え。③自宅待機のコロナ患者も訪問する介護ヘルパーと事業者を守れ。④区民への家賃補助の拡充、公営住宅の増設を。(2)区立保育園、学童保育クラブの民営化を止めよ。(3)国民健康保険料負担増を止め独自支援を、後期高齢者医療窓口2割負担に区からも意見を。(4)羽田新ルートを止めるよう国に言え。

## 賛成 当たり前の日常は幸せであり、誰かの努力によって支えられている

自由民主党目黒区議団 **おのせ 康裕** 議員

タイトルは、甲子園の選手宣誓で、コロナ禍の今、私達の胸に染みる言葉だ。昨年の区長選以降、我が会派は、区政のデジタル化、誰もとり残さない福祉の相談体制、人口減少社会とポストコロナを見据えた世代や縦割りを超えた区政再構築会議の創設を求め、実現した。区は、DX担当、広報課長への外部人材の登用、CSWの構築等に着手したことを評価する。今年度予算は、ワクチン接種

の円滑な実施と、コロナ禍でも決して停滞することは許されない区民生活、街づくりにも対応している。区民センターや自由が丘駅周辺地区の鉄道立体交差、中目黒駅周辺街づくりには、民公の連携が重要な役割を持ち、私たちの財産である区内の桜も早急な再生計画が必要である。税収減少を予測し、当たり前の日常を守るため、本議案に賛成する。

## 賛成 「誰ひとり取り残さない目黒」を目指して

公明党目黒区議団 **いいじま 和代** 議員

新型コロナウイルス感染症の脅威から国民の生命、健康、財産を守るために日々尽力くださっている医療従事者をはじめ、さまざまな場所で区民のために現場で働いてくださっている皆様に、心より敬意と感謝を表し、御礼申し上げます。緊急事態宣言は解除されたが、まだまだ終息は見通せない状況にある。コロナの脅威から区民の命と生活を守り抜くことに全力を挙げるとともに、その先を見

据えて、ポストコロナの新たな展望を開くスタートの年にしていかなければならない。コロナ禍で浮き彫りになった「さまざまな困難を抱えた人たち」の存在に目を向け、公明党は、どこまでも窮状に寄り添い、一人の声を大切に政治の実現に全力で取り組む。「誰ひとり取り残さない目黒」を目指し、令和3年度目黒区一般会計予算に賛成する。

## 賛成 区政は新たな局面へ。さらなる攻めの姿勢を!

フォーラム目黒(立憲民主・無所属の会) **西崎 つばさ** 議員

コロナ禍で特徴的な編成が見なされた今回の予算案は、歳入減が見込まれる中、区の貯金を取り崩し、ワクチンの接種やPCR検査といった新型コロナ対策の30億円や、DXへの対応を主とした区政再構築の16億円などを計上しながら、既存事業の規模や優先順位を徹底的に見直している。一方、待機児ゼロ達成に伴って児童福祉費や扶助費の増は一段落し、区政は新

たな局面を迎え、最近は「攻めの姿勢」も感じさせる。新型コロナに対する目黒区の行政と議会の連携体制は、全国を見渡しても効果的に機能しており、有識者からも一定の評価を受けている。「雨降って地固まる」と言うには、あまりに激しい雨だが、この経験から将来に向けた強固な大地を築いていく決意をもって、予算案に賛成する。

## 自治体DX推進に向けた支援に関する意見書

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、新しい日常に代表されるように国民の生活スタイルに大きな変化をもたらしている。この新しい日常への移行に伴い、デジタル社会の実現が加速化することとなった。国では令和3年度中にIT基本法の抜本的な見直し、デジタル・ファーストを基本方針とした法整備を進めるほか、令和3年9月1日に国や地方行政のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進を目的としたIT分野を担当するデジタル庁を設置する。このデジタル庁の人員の内2割が民間の専門的知識に優れた人材を登用する予定であり、既に採用活動が進んでいる。一方で各自治体のデジタル化、DX推進も急速に進み出した。総務省は、令和2年12月に自治体DX推進計画概要を公表し、全ての自治体がデジタル社会構築に向けて取り組むための指針を示した。現在は、多くの自治体がDX推進体制整備と人材確保の段階にある。自治体DXは、ICT化とは異なりデジタルを活用して個々のニーズに合った行政サービスを構築することや個々の課題解決を実現していくこととなる。さらに、コロナ禍の影響による財政悪化でハード面への投資も厳しい状況にあるため、目黒区議会は国に対し、次の3点を強く要望する。

## 賛成 ポストコロナ時代に則した区政運営を求める!

新風めぐろ **青木 英太** 議員

令和3年度の区の税収見込み額が、コロナによる景気悪化等の影響から9年ぶりにマイナスへ転じた。また、去年の8月頃より目黒区をはじめ都内の人口が減少傾向となるなど、今後の区民税を中心とする歳入についてはプラス要素が少ない中、区としては真に必要な事業への集中的な予算配分が必要であり、議会の要望も取り入れながら目黒区独自施策も含め展開されることを強く求め

る。ワクチン接種は目黒区の実優先事業であり、情報発信の強化、国、東京都、そして関係機関と連携をとり取り組むこと、そしてウィズコロナ、ポストコロナ時代に則した区政運営を要望する。我々新風めぐろは本予算を通じて目黒区基本構想に掲げた20年先の「まちの将来像」を実現できるよう全力を尽くすことをお誓い申し上げ予算に賛成する。

## 賛成 世界各国1億2300人超のコロナ感染者、死亡者270万人超!

**川端 しんじ** 議員

目黒区の人口が8カ月連続減少、世帯数は10カ月連続減少している実態から少子高齢化が加速しないか心配の声がある。コロナ禍により予測できない事態において柔軟な行財政運営が求め

られる。区民のために、区民とともに、志を持って使命を果たせ! 区民からの厳しい目を忘れるな! 己の正義に自信を持ち不正な執行を求める。

## 賛成 浅薄なDX推進、SNS活用と個人情報の安全保障は相容れない!

**岸 大介** 議員

PCR集団検査と統計を公表し、変異株の第4波に備えるのは今である!「ふるさと納税」の肝は所管主導でなく、各課の目玉企画を持ち合う発想を! CO<sub>2</sub>排出削減の主戦場は一般家庭(約40%)である

以上、気候非常事態宣言、カーボンニュートラル宣言で、危機感の共有を! 今の我々の振舞いこそ、次の時代の危機への解題となる自覚を!!

## 賛成 職員ひとりひとりの責任感で目黒区の行政改革を進めよ!

**白川 愛** 議員

私たちは、住民に最も近い自治体、基礎自治体として今まで以上に責任ある対応をしていかねばならない。例えば補助金活用事業は代行業務ではない。事業を実施する自治体として「正しい独自の

判断基準」を自ら問う職員の意識醸成が必要である。また、独自財源の継続事業は、二重行政を避けるよう運用し、一層効率的かつ効果的な予算執行にシフトするよう強く要望する。

## 賛成 ワクチン接種、そして10年先を見据え一丸となり歩みを進める

**たぞえ 麻友** 議員

今回の予算審議では、新型コロナワクチン接種について多くの時間を割き、質疑がされた。供給の見通しが立たない、国からの丸投げ、情報発信の難しさを理解するとともに、議会も一丸となって乗

り越えていきたい。また、公民連携や児童相談所設置については、10年、20年先を見据え、今、何をすべきなのかを共に考え、一歩一歩進めていきたい。

## 賛成 とことんステイホームはもう分かった。行政こそやるべきことを!

**松田 哲也** 議員

感染拡大のたびに行政からは「ステイホーム」、既に区民は相当我慢を強いられている。それより行政がすべきことがある。病床確保や重症者のICUに関わる整理を。ワクチンは、個別接種をさらに

進める準備を。災害時のスマホ充電等の蓄電池は、1町会当たり1日50人分ではなく拡充を。そして二度と虐待死を起こさないよう児相の設置を求め賛成する。

## ◆審議した議案等の結果と各会派の賛否

(○：賛成、×：反対、退：退席)

議案名等	概要	自民 10人	公明 6人	フォ 5人	共産 5人	新風 3人	無会派(50音順) 各1人	議決 結果		
<b>区長提出議案</b>										
目黒区基本構想の策定について	総合的かつ計画的な行政の運営を図るため策定する。	○	○	○	○	○	○	○	可決	
目黒区組織条例の一部を改正する条例	危機管理部を設置するとともに、企画経営部の分掌事務である定数に関する事務を総務部の分掌事務とするもの。	○	○	○	○	○	○	○	可決	
目黒区手数料条例の一部を改正する条例	食品衛生法等の一部を改正する法律等が施行されることに伴い、営業許可業種の見直しに係る規定の整備を行うとともに、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の一部を改正する法律等が施行されることに伴い、非住宅部分の面積区分の見直し等を行い、併せて規定の整備を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	可決	
目黒区立高齢者福祉住宅条例の一部を改正する条例	コーポ中町の住戸を増設するもの。	○	○	○	○	○	○	○	可決	
目黒区立自転車等駐車場条例の一部を改正する条例	池尻大橋駅東口駐輪場で定期利用を開始することに伴い、使用料を定めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和2年度目黒区一般会計補正予算(第4号)	歳入歳出予算総額にそれぞれ6億3,965万6千円を追加。補正後予算総額1,445億8,516万2千円	○	○	○	×	○	退	○	○	可決
令和2年度目黒区国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出予算総額にそれぞれ4億4,190万2千円を追加。補正後予算総額258億1,360万7千円	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
令和2年度目黒区後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算総額からそれぞれ4,087万8千円を減額。補正後予算総額68億8,983万2千円	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
令和2年度目黒区介護保険特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算総額からそれぞれ8億7,748万8千円を減額。補正後予算総額205億3,980万7千円	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
令和3年度目黒区一般会計予算	歳入歳出それぞれの予算総額1,073億3,476万4千円(前年比0.2%増)	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
令和3年度目黒区国民健康保険特別会計予算	歳入歳出それぞれの予算総額252億4,934万5千円(前年比0.4%増)	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
令和3年度目黒区後期高齢者医療特別会計予算	歳入歳出それぞれの予算総額1,119万8千円(前年比0.3%減)	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
令和3年度目黒区介護保険特別会計予算	歳入歳出それぞれの予算総額211億7,233万4千円(前年比0.3%増)	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
目黒区立住区会議室条例の一部を改正する条例	夜間の利用時間を見直し、使用料を改定するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
目黒区介護保険条例の一部を改正する条例	保険料率を改定するとともに、低所得者に対する保険料の減額の特例措置を継続し、併せて健康保険法施行令等の一部を改正する政令により介護保険法施行令が改正されたことに伴い、規定の整備を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
目黒区指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準が改正されることに伴い、規定の整備を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
目黒区指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準に関する条例の一部を改正する条例	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準が改正されることに伴い、規定の整備を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
目黒区指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する条例の一部を改正する条例	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準が改正されることに伴い、規定の整備を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
目黒区指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準が改正されること等に伴い、規定の整備を行うもの。	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準が改正されること等に伴い、規定の整備を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
目黒区国民健康保険条例の一部を改正する条例	保険料率を改定するとともに、国民健康保険法施行令等の一部を改正する政令等の施行に伴い、規定の整備を行うもの。	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
目黒区監査委員の選任の同意について	3月31日任期満了の大坂恭子氏を再任することに同意するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
人権擁護委員候補者の推薦について	長尾愛女氏を推薦することの可否を諮問する。	○	○	○	○	○	○	○	○	可として 答申
<b>議員提出議案</b>										
目黒区議会委員会条例の一部を改正する条例(上記の区長提出議案参照)が施行されることに伴い、規定の整備を行うもの。	目黒区組織条例の一部を改正する条例(上記の区長提出議案参照)が施行されることに伴い、規定の整備を行うもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
小・中学校の少人数学級の実現を求める意見書(下記参照)		○	○	○	○	○	○	○	○	可決
自治体DX推進に向けた支援に関する意見書(6面参照)		○	○	○	×	○	○	○	○	可決

## ◆陳情の審議結果と各会派の賛否

件名	自民 10人	公明 6人	フォ 5人	共産 5人	新風 3人	無会派(50音順) 各1人	議決 結果		
子どもの望まない受動喫煙をなくすための陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
目黒区ゼロカーボンシティ宣言に関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
小中学校の少人数学級の実現を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

(会派略称) 自民：自由民主党目黒区議団 公明：公明党目黒区議団 フォ：フォーラム目黒(立憲民主・無所属の会) 共産：日本共産党目黒区議団 新風：新風めぐろ各会派の構成議員は、ホームページの「区議会の構成と議員名簿」をご覧ください。

### 撤回承認した陳情

- 子どもの望まない受動喫煙をなくすための陳情
- スーパージェティ推進に関する陳情
- 政治団体等による誹謗中傷及び選挙活動についての陳情
- 小中学校の少人数学級の実現を求める陳情

### 小・中学校の少人数学級の実現を求める意見書

昨年3月から新型コロナウイルス感染拡大防止のため、区内小・中学校において一斉休校が行われ、その後、目黒区では6月に分散登校という形で登校が再開されました。普段より少ない人数の授業を受けた子どもたちからは授業が分かりやすいなどの声が上ががり、教職員からも学習につまずいている子への対応や遅れた授業を補うことができるなど好評であり、保護者や教育現場からは小・中学校における少人数学級の実現を求める声が高まっています。今後も教育現場は、引き続き収束のめどがたたない新型コロナウイルス感染症に対する拡大防止対策を行いながら、子どもたちの命と健康を守り、学び権利を保障する必要があります。

### 継続審査とした陳情

- 核兵器禁止条約に関する陳情
- 硬式野球練習場確保に関する陳情
- 都心上空低空飛行の運用にあたっての陳情書
- 区議会議員の費用弁償の支給凍結及び廃止を求める陳情

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和3年3月23日

目黒区議会議長 **そうだ 次郎**  
衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣  
財務大臣 文部科学大臣 } 宛て